※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	(学)情報リテラシーⅠ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	「Excel で学ぶプログラミング」（実教出版）「30 時間でマスター　Excel2016」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年の「情報Ⅰ」で学んだ内容をさらに深めていきます。「情報」とは何かを考え、私たちの身の回りの問題を考え、解決する方法を探っていきます。まずは身近な「情報」の取り扱い方から考え学び､情報を伝達する技術を身に受け､身近な問題を解決する方法を１年通じて学習していきます。１年生でコンピュータの操作がまだ不慣れな人は、各個人で扱える技術を身につけておきましょう。

２　学習の到達目標

（１）高度情報社会にむけて、問題を発見し、解決できるようにする。
（２）情報の取り扱い方を考え、適切に取り扱い活用する判断ができるようにする。
（３）高度情報社会にむけての情報モラルに対して主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表現と伝達	・表計算ソフトの関数の利用について理解する。 ・表計算ソフトの検索用関数(VLOOKUP 関数等)を利用して，条件に合ったデータの検索について実習で学ぶ。	a: 表計算ソフトウェアを利用して，ヒストグラムを作成することができる。 b: 量的データと質的データの違いについて説明することができる。 c:表計算ソフトを利用し、関数やグラフの作成などを意欲的に取り組んでいる。	小テスト 提出物	小テスト 提出物	授業取り組み 振り返りシート 提出物
2学期	情報社会と問題解決	・コンピュータを活用しプログラム言語を用いた問題解決を行う。 ・問題解決の過程を理解する。 ・問題解決のための手段の選択について考える。	a: アルゴリズムの基本とプログラムの意味を理解している。 b: 配列の利用により，効率のよいプログラムを考え，作成することができる。 c: プログラムを組むことや、読むことについて意欲的に取り組んでいる。	小テスト 提出物	小テスト 提出物	授業取り組み 振り返りシート 提出物
3学期		・データの統計処理とグラフ化，及びグラフを利用した分析について学ぶ。 ・アンケートを用いて、回答データを収集・分析し、他者への適切な表現方法を学ぶ。 ・テキストマイニングなどテキストデータの分析方法について理解する。	a: 収集したデータを結合して，新たな表を作成することができる。 b: 量的データと質的データの違いについて説明することができる。 c:データを利用する目的を考え、表現することについて意欲的に取り組んでいる。	小テスト 提出物	小テスト 提出物	授業取り組み 振り返りシート 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度